

平成 29 年度新入生アンケート 調査結果について（報告）

大阪大谷大学では、全学部の新入生を対象に毎年「新入生アンケート」を実施しています。新入生一人ひとりにあった学習支援をするために、入学時の基礎データを得ること及び大学教育・大学運営の充実・改善のための基礎資料とすることを目的として実施するものです。

以下、調査結果（全学）の概要を報告します。

◎調査期間：平成 29 年 5 月 8 日（月）～5 月 26 日（金）【昨年度と同時期】

◎調査対象：全学部新入生（1 回生）

◎調査方法：WEB によるオンライン調査

（Moodle のアンケート機能を利用して、学籍番号に紐づけて収集）

◎回収率：96.4%（698/724）

問）大阪大谷大学に入学して満足していますか

「満足している」	31.7%
「やや満足している」	31.1%
「普通」	29.7%
「あまり満足していない」	3.2%
「満足していない」	1.7%
「わからない」	2.7%

\* 「満足している」「やや満足している」を合わせた肯定的回答は 62.8%であり、昨年度比+4.4%、一昨年度比+21.4%の結果からも、新入生の入学後 1 ヶ月時点での満足度は高まりつつある。

一方、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた否定的回答は 4.9%と低い数値であり、さらにこれは昨年比-3.8%、一昨年比-1.6%と減少傾向となっている。

また、「普通」「わからない」を合わせた回答は 32.4%であり、昨年度の 32.9%とほぼ同値であった。

問）本学を受験校に選んだ理由は何ですか（複数回答可）

・上位 7 項目は以下の通り。

「学びたい学科・専攻がある」	65.2%
「資格・免許が取得できる」	49.9%
「他の大学に入学できなかった」	27.1%
「人（先生・家族・先輩など）から勧められて」	21.9%
「通学に便利」	19.2%
「入学の難易度が自分にあう」	18.1%
「資格試験や教員採用試験の対策指導が充実している」	12.5%

- \* 多様な選択肢の中から今年度も複数回答可として調査した。  
「学びたい学科・専攻がある」は 65.2%で、昨年度同様もっとも数値が高く、ほぼ 2/3 の学生が選んでいる。「資格・免許が取得できる」も昨年度と同じであった。  
次に回答者が多い項目として、昨年度と同じ傾向で「他の大学に入学できなかった」「人（先生・家族・先輩など）から勧められて」がある。消極的な入学理由が、今年度も一定数見られることは、学生の満足度向上とも関連して、課題の一つとして捉える必要がある。

問) 学生生活の中で特に力を入れて取り組みたいことは何ですか（複数回答可）

・上位 7 項目は以下のとおり。

「資格・免許の取得」	81.4%
「教員採用試験・公務員試験・国家資格試験等に合格するための勉強」	58.9%
「学科の専門分野の知識・理解を深める」	37.8%
「部活・サークル活動」	35.8%
「趣味やアルバイト」	33.7%
「有意義な人間関係を築く」	28.7%
「幅広い教養・ものの見方を身につける」	26.8%

- \* 選択肢の中で最も回答数の多かった項目は、今年度も「資格・免許の取得」81.4%で、昨年度比+4.6%、一昨年度比+0.7%の増加傾向がうかがえる。続いて多いのが「教員採用試験・公務員試験・国家資格試験等に合格するための勉強」で、過半数の新入生が選択し、昨年度比+2.3%となった。今年度の新生も、入学時から自らが学びたい目的意識と目標を明確に持ち、教員免許や国家試験等への取り組みを熱心に考えている新生が多いことがわかる。上位 2 項目が昨年度比増加したのに対して、それ以外の上位項目について順位は昨年度とほぼ同じだが、数値として大きな幅ではないが減少する結果となった。

問) 今後、学生生活を送るうえで不安がありますか（複数回答可）

・上位 7 項目は以下のとおり。

「授業（勉強）」	68.1%
「資格・免許取得」	51.2%
「就職」	46.7%
「教員・公務員試験対策」	37.3%
「英語（外国語）」	27.5%
「学費」	25.9%
「パソコンの活用」	23.5%

- \* 新生が最も不安を抱いている上位 2 項目は、今年度も「授業（勉強）」と「資格・免許取得」となり、過半数以上の数字となった。続く「就職」も過半数未満ではあるが、昨年比+0.9%、一昨年比+18.2%と増加した。一昨年度との差が大きいのは、「資格・免許取得」（+11.1%）、「就職」（+18.2%）、「教員・公務員試験対策」（+13.2%）である。  
アンケートを入学後 1 ヶ月の時期に実施したことにより、「友人」や「新しい生活環境への不安」よりも、自らの将来に関わる現実的な項目に対して不安を感じている新生が増加していることがわかる。

### 【総括および大学の対応】

今回の調査においても、入学時から学びたいこと・目的意識・目標を明確に持ち、免許や資格取得への取り組みを熱心に考えている新入生が多いことがうかがえた。一方、日々の「授業」、「資格・免許取得」、「就職」、「教員・公務員試験対策」「英語（外国語）」等に不安を抱きながら、学生生活を送っている新入生が少なくとも30%以上いることも判った。

本学では、教職教育センターでの教職支援や就職課の多様な就職支援、本年度より開設した英語教育センターでの資格取得や学力向上等のための英語教育支援、初年次からの少人数教育や「オフィスアワー」などの学習支援、臨床心理士等のスタッフが常駐する学生相談室（アクセスルーム）の整備等、多様なサポート体制に基づいて、新入生をはじめ預かっている全学生一人ひとりに対する丁寧な支援を行っている。

以 上